

学校評価アンケート(前期)より

7月下旬にご協力いただいた前期の学校評価アンケートおよび生徒のアンケートの集計結果がまとまりましたので、概要を報告いたします。

今年度は、学校評価アンケートの質問項目を変更し、「子どもの家庭及び学校での生活や学習」については、生徒・保護者の実現度を比較できるものにしました。

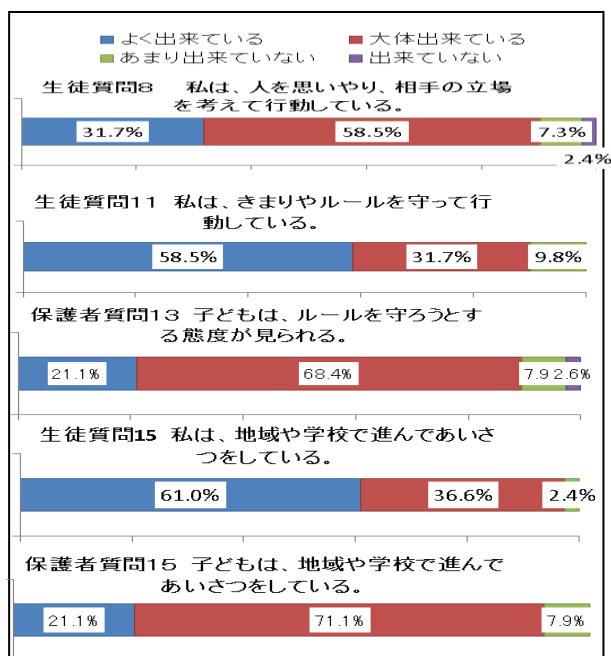
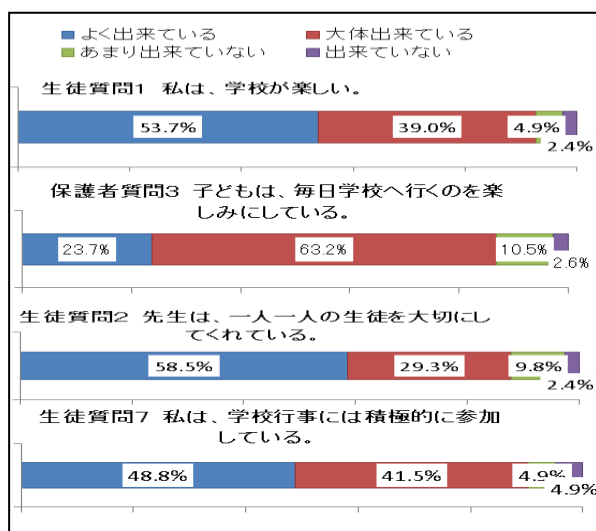
○『学校生活について』

「1 私は、学校が楽しい」「3 子どもは、毎日学校へ行くのを楽しみにしている。」は両者とも実現度が高くなっています。また、「2 先生は、一人一人の生徒を大切にしてくれている。」「7 私は、学校行事に積極的に参加している。」の実現度も高いことから、子どもたちが学校生活を楽しく過ごしていることがわかります。全教職員で今後とも、子どもたちの気持ちを大切に「楽しい学校」づくりを継続していきたいと思います。

○『豊かな心について』

子どもたちは、おおむね人を思いやり、相手の立場を考えて行動できています。「きまりやルールを守る」「遅刻をしない」「地域や学校ですんであいさつをする」の項目については、両者とも実現度が高く、子どもたちに規範意識が身につけていることがうかがえます。また、「家庭であいさつができて」「家族とのふれあいや対話」の実現度も高くなっています。保護者の方が子どもたちの生活をしっかりと支えていただいていることがわかります。

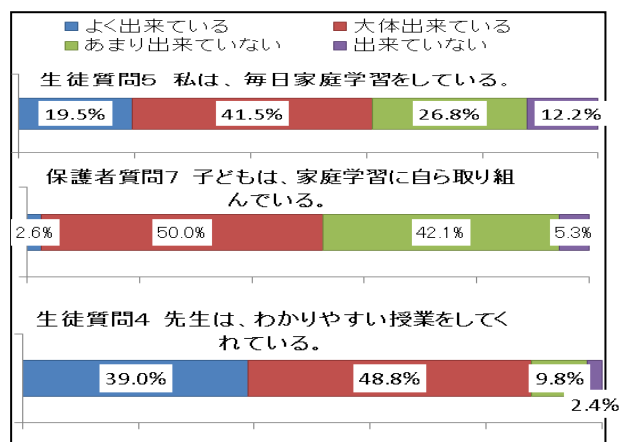
ただ、保護者の目で見えて感じる様子以上に子どもたちは「できている」という意識を持っており、認識のずれがあるようです。あいさつや規範意識については、社会生活を営む一員として将来のためにもきちんと身に付けさせる必要があると感じます。



○『学習について』

「5 私は、毎日家庭学習をしている。」「7 子どもは、家庭学習に自ら取り組んでいる。」の項目は、今回のアンケートで両者ともに一番実現度が低かった項目です。家庭学習の定着の問題については、以前から本校の課題になっているところです。自学自習の定着を図る意味からも、家庭学習をするきっかけとして「積み上げ学習」（家庭学習課題）を実施していますが、課題をやりこなすだけになってしまい、まだまだ自学自習の定着には至っていないことがわかります。子どもたちに学ぶことの大切さ面白さに気付かせ、自学自習の定着が進むような取組をしていきたいと思えます。

「4 先生は、わかりやすい授業をしてくれている。」の項目は、「あまり出来ていない」「できていない」の数値が保護者 21.6% 生徒 12.2%に注目し、教師は真摯にその結果を受け止めて、子どもたちが「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感できる授業改善に努めていきたいと考えます。



○『困ったことや悩みの相談について』

「先生に相談できる」生徒 80.5% 「相談できる友人がいる」生徒 92.7% となっています。子どもたちが自分の困りごとや悩みを、先生や友人に相談できる関係があることは心の安定・成長にとって大切なことです。この信頼関係を大切に継続していける関係づくりに努めていきたいと考えるとともに、「相談できない」と答えている生徒がいることをしっかり受け止めて、子どもたちの心の変化に気を付けながら、教育相談やカウンセラーの活用を含めて子どもたちに寄り添った教育をしていきたいと考えています。

学校としましては、アンケート結果を真摯に受け止め、課題解決に取り組むことはもちろんのこと、良好な評価をいただいている項目についても質の向上を目指して全教職員で精一杯取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。尚、集計結果の詳細については本校のホームページに掲載しております。是非、ご覧ください。